

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍の為、例年出来ていた地域の行事への参加等、地域とのかかわりが希薄になってしまった。	地域関係者等と築き上げてきた関係性が希薄にならない様今できる関わりを模索して行動していく。	地域ケア会議や勉強会等には事業所として参加していく。また事業所の見える化を意識して日々の活動状況を積極的にブログで発信、動画等の作成も行い、地域関係者の皆様に周知していく。	3ヶ月
2	35	今後に向けて作成義務となった事業継続計画(BCP)について段階的に準備を進め災害発生後における運営方針の明確化が必要	備蓄に関しては3日間過ごせる分の備蓄を行う。ホーム周辺の立地環境の把握をし、また冷静な行動が取れるようBCPの作成に着手し、従業員へ周知を図り、有事の際に対応できるようにする。	ホーム環境に合わせた災害対策マニュアルの作成(見直し)や避難訓練の実施、半年に1回の備蓄点検や保管状況の周知を行い、活動状況については運営推進会議やブログでの発信を通して周知していく。	12ヶ月
3	40	コロナ禍の為、外出行事や外食が出来なくなりお客様の楽しむが減少している。	年間行事計画に沿って密にならないようホーム内外で楽しめるレクを実行していく。	ホームでのお花見会やBBQ、芋煮会等の充実や季節感のある行事(お花見・野菜の収穫)等を行っていく。	3ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。